

令和3年度 第2回 鈴鹿市男女共同参画審議会（概要）

日 時：令和3年7月27日（火） 14：00～16：00

場 所：鈴鹿市役所本館5階 502ミーティングルーム

出席委員：8名（藤原芳朗，長谷川玲子，蕪竹理江，神崎佳代子，酒井秀郎，
岡本綾，秋葉美香，市野伸幸）

欠席者2名

事務局：地域振興部長，地域振興部次長，男女共同参画課長，職員2名

傍 聴：なし

内 容：下記のとおり

（事務局）

委員総数10人中，8人の出席，鈴鹿市男女共同参画審議会規則第4条第2項により，本審議会は成立していることを報告する。また，本日の傍聴人はなし。本審議会は，鈴鹿市情報公開条例 第37条及び審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開，会議資料，議事内容についても，鈴鹿市のホームページにて公開。

本日の進行について説明。本日の皆様のご意見に基づきこちらで訂正し，内容を反映するようにして，修正を進めていく。

ここからの議事進行は，藤原会長にお願いしたい。

事項1 令和2年度鈴鹿市男女共同参画基本計画に係る年次報告の外部評価のまとめについて

（藤原会長）

本日は外部評価として提言する内容を項目ごとに確認しながら検討し，修正したい。まず成果指標1-1について。第1回の審議内容を事務局でまとめ，文章化したもの。前段で数値について評価し，後段でアンケート母数の問題について触れて調査方法の改善要望を述べているが，いかがか。

（長谷川委員）

評価表と提言書の違いは何か。

（事務局）

評価表は，成果指標と施策ごとに作成して年次報告書に掲載するものである。提言書については，市長に提出いただくものであり例年文章としていただいているこ

とから、今回も同様をお願いしたい。まず評価表を作成し、次に文章としてまとめていただきたい。

(長谷川委員)

今配られている資料では、評価表と報告書で若干ニュアンスが違う。報告書で述べられている「アンケート数が減少している」という部分がポイントであり、評価表にも記載すべきである。「コロナ禍でアンケート数が減少した中での結果ではあるが、75%になった」というのが趣旨。

そして、もう一つ「左右されることのないよう」を「左右されることのないよう」が正しい。

(藤原会長)

「が」が続くので、「での結果ではあるが」を削除した方がよい。他の委員の皆さん、これでよろしいか。評価について、「◎」「○」「△」のいずれか。今後の期待を込めて「○」と思うがいかがか。

【異議なし】

それでは、次に進める。成果指標「男女比率が適正な審議会などの割合」について。絶対的な評価はあまり良くないが、県内と相対的な評価においてはトップである。

(長谷川委員)

私が男女共同参画課にいた時は審議会の女性比率は県下最下位で新聞にも載るほどだった。その頃に比べると力を入れて進められている。特に女性市長になってから非常に力を入れており、そのことから私は「素晴らしい」という表現をした。他の委員のご意見をお伺いしたい。

(神崎委員)

「素晴らしい」以外の表現で進んでいることを表してはいかがか。

(事務局)

「ある程度評価できる」にしてはいかがか。

(長谷川委員)

提言書の中では、「十分評価できる」となっているため揃えた方がよい。

(藤原会長)

女性委員がいない審議会等はいくつあるか。

(事務局)

委員総数3名の固定資産評価審査委員会の一つのみである。

(長谷川委員)

その前の年は二つあってそこを何とか頑張ってもらいたいという思いがある。

(藤原会長)

それでは文章はそのままよろしいか。

【異議なし】

(藤原会長)

評価は何にするか。女性委員がいない審議会があと一つというのは、順調に進捗しているといえる。しかし、前年度より低下しているため「○」が妥当。

【異議なし】

(藤原会長)

続いて、課題I(1)について。

(岡本委員)

文章表現として問題ない。

(市野委員)

今年初めてジェフリーすずかに行った。設立されて何年になるか。また、場所は変わっていないか。

(事務局)

19年目である。再開発の時にかんべ再開発ビルとして建てられて以来変わっていない。

(市野委員)

初めて行った時、正直迷った。商店街や大型店舗の空き店舗など立ち寄りやすい場所への移転を考えていただきたい。

(事務局)

周知方法を検討し、認知度を上げていきたい。

(藤原会長)

広報が足りない。 媒体を問わず改善をしていただきたい。

(秋葉委員)

ジェフリーすずかの周りの方から聞く話では、「どういう時に利用していいか分かりづらい。名前を聞いても今ひとつ分からない。」という話を聞く。また、施設を女性が使うイメージが強い。男性も利用しやすい雰囲気にしてほしい。

(神崎委員)

働いている人が見えるといいのでは。人気がないため場所があっているかの不安がある。

(藤原会長)

「見える化」「オープン」「男性も立ち寄れる」このあたりのキーワードでまとめていきたい。市民の前に「幅広く」を入れる。改善の前に「広報に努め」を入れ、「改善」を「さらなる改善を図っていただきたい」としてはいかがか。

(事務局)

3階に事務所があるため、上がって見ないとわからないということはあるかと思う。1階を使って「見える化」に努めたい。

(藤原会長)

評価はどうするか。

(岡本委員・市野委員)

「△」

(長谷川委員)

ジェフリーの認知度としては「△」かもしれないが、施策全体での評価になるため他の事業も含めた評価はどうなるかを考えるのでよろしいか。

(事務局)

長谷川委員の意見のとおり、評価については、年次報告書案「14ページから20ページ」の事業全体に対する評価となる。「意見」の欄は、部分的なもので構わない。

(長谷川委員)

であるならば、他の事業の評価は高いため、「○」が妥当である。

(藤原会長)

課題Ⅰ全体としては、「○」という意見に対して他の委員はいかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

次の課題Ⅱ（１）については、成果指標「男女比率が適正な審議会などの割合」と同じなので、課題Ⅱ（２）「就労における男女共同参画」に進める。最後の段落、男性の育児休業取得者数とは、どこの話になるか。

(事務局)

鈴鹿市役所のことを指している。

(藤原会長)

最後の行「民間企業の育児取得」ではなく、「民間企業の育児休業取得」が正しい。

(事務局)

ご指摘の通り訂正する。

(藤原会長)

一番上契約検査課のところはいかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

次の段落はいかがか。

(長谷川委員)

「連携を図り」の後に「，」を入れた方が読みやすい。

(藤原会長)

次の段落、「広がっている。」の方がよい。また「農業分野における女性の活躍は期待されると思われる。」と言いつつの方がよい。

(長谷川委員)

最後の所、「してほしい。」となっているが、「していただきたい。」に揃えた方がよい。また「評価できると考える。」を「評価できる。」としてはどうか。

(藤原会長)

大体良いと思われる。大企業は育休・産休であるため、あんまり男性の育休で喜んではいけない。

(長谷川委員)

「男性の育児休業取得が普通のことと受け止められるよう」の表現はそのままでもよいか。「みんなが取れるような状況に職場の意識がなるように」という思いの表現としてよろしいか。

(藤原会長)

「普通のことと受け止められるよう」と言う表現で問題ないかと思われる。評価は、ある程度進んでいると思うので、「○」でいかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

続いて、施策(3)「地域における男女共同参画」について。

(長谷川委員)

3行目の自治会長の状況について、「自治会長の状況も女性が極めて少ない」とした方が分かりやすい。

(秋葉委員)

3行目、「様々なハードルが」で始まる文章の「，」を少なくしたほうが読みやすい。

(藤原会長)

評価は「△」が妥当かと思われるが、いかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

続いて、施策(4)「家庭における男女共同参画」について。「父子健康手帳交付する取り組み」の後に「等」をつけた方が良い。他にご意見は。

【異議なし】

(藤原会長)

評価としては「◎」でいかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

続いて、施策（５）「教育における男女共同参画」について。最終行、「検討いただきたい。」を「検討していただきたい。」に修正を。

(市野委員)

「性同一性障害」のあとに「(LGBT)」を加える。

(長谷川委員)

最後の段落、「きめ細やかな対応が必要だと思うので、」のうち、「対応が必要だと思うので、」を削除してストレートに伝えてはいかがか。

(藤原会長)

それでは、「性同一性障害（LGBT）等に対して有効な取り組みを検討していただきたい。」としてはいかがか。

(市野委員)

学校現場でよく言われていることだが、「きめ細やかな」というのは重要である。

(藤原会長)

それでは、「性同一性障害（LGBT）等に対してきめ細やかで有効な取り組みを検討していただきたい。」とする。評価が高い前段と課題のある後段から、評価は「○」でいかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

続いて、課題Ⅲ「ジェンダーの視点に立った人権尊重と性差に応じた健康支援」(1)「自尊感情と人権意識の向上」について。２段落目、「カウンセリングルームの設置が必要だと思う。」を「カウンセリングルームの設置が必要である。」に修正。

(長谷川委員)

今は相談員の公募は受け付けていないのか。

(事務局)

基本的に公募である。

(市野委員)

子ども家庭支援課から聞いた話では、「女性からの相談は女性相談員が受ける」とのことだった。公募ではないのでは。

(事務局)

資格等条件付きの公募が多い。

(市野委員)

スクールカウンセラーが上から目線で話をするという声も耳にする。臨床心理士や医療系の資格を持っている人が多いのが一因と思われるため、「市民目線を持った相談員を公募で登用する方法もある。」という表現をした。

(事務局)

面接を通して総合的に採用するのが通例である。その後、担当課が教育して適正にカウンセリングを実施していただいている。

(市野委員)

それでは、行政側の育成と相談をした市民の感覚に差があるということでは。

(長谷川委員)

「公募」をすることで解消できる問題なのか。「資質」の向上のために何か手立てをする必要があるのではないか。

(市野委員)

両方必要ではあると思うが、専門家の言うことは一般の人には分かりにくい。

(長谷川委員)

そうであるならば、「市民目線に沿った相談対応ができるように研修を積んでほしい」という内容の方が具体的な改善方法ではないか。専門性は必要であって、その上で市民の理解不足を解消していくというのが課題である。この表現だと何を求めているのかわかりにくい。市に対してどこを改善してほしいか意見として述べると良いと思う。

(藤原会長)

「市民目線で寄り添える相談員を育成していただきたい。」という表現にすればよい。そうすれば、みなさんが納得いただける相談援助が受けられ、ケースワークできるのでと思う。私どもの大学も臨床心理があり私は学科長をしているが、相

談員の力量も様々であるのは知っている。専門用語が多くなるというような具体的な話もあったが、一般的にはそういう表現で良いと思う。

一段落目の「配慮いただきたい。」を「配慮をしていただきたい。」に修正。

(長谷川委員)

その上の行「相談対応にも苦慮され」の前に「相談員が」を加え、後ろの「相談員の」を削除。「相談内容が複雑化・多様化している中で、相談内容に何が求められているかを把握し新たな施策につなげてほしい」「相談員が難しい相談に苦慮されて心身の負担も増加していることから支援体制にも配慮していただきたい」という2つのことが言いたかった。

(藤原会長)

評価は「○」でいかがか。

【異議なし】

(藤原会長)

続いて、(2)「生涯にわたる心身の健康に関する啓発」について。

(市野委員)

ここでは男女の性についての意見とするか、LGBT も含めるか。

(事務局)

年次報告書案の 78ページに対する意見である。

(藤原会長)

「心身の健康に関する出前授業を行っていただきたい。」とすれば、すべての意味が含まれる。評価は「○」でよろしいか。

【異議なし】

(藤原会長)

全体を通して確認する。課題Ⅱ(5)「教育における男女共同参画」の2行目、「少々」を削除する。他にはいかがか。

(岡本委員)

課題Ⅱ(2)「就労における男女共同参画」の「雇用における」から始まる段落の下から2行目と3行目「いただき」が続くため、2行目を「共有していただき」を「共有し」に修正する。

(藤原会長)

課題Ⅰ（１）「男女共同参画意識の普及と向上」の２行目、「もう少し」を削除する。

(市野委員)

課題Ⅱ（３）「地域における男女共同参画」の３行目、「状況」という言葉が続いているため、「自治会長の状況も」を「自治会長も」に修正する。

(事務局)

１行目「女性活躍では」を「女性活躍で」に修正してはいかがか。

【異議なし】

(会長)

続いて、提言書について審議する。まず、「１．成果指標及び課題Ⅰ 男女共同参画意識の向上に関する取組について」から。

(事務局)

３段落目の２行目、「1.8パーセント」ではなく「1.8ポイント」が正しいので修正する。

(藤原会長)

２段落目、「楽観はできない」を「評価することはできない」に修正する。また、「無作為での調査手法」より「有効な調査手法」という表現の方がよい。学問の世界では、母集団が小さいと統計にかからない。しかしながら、この提言書においてはこの表現で良いと思う。

(事務局)

前半の議論であったため、「十分評価できる」を「ある程度評価できる」に修正する。

(藤原会長)

続いて、「２．課題Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画の推進に関する取組について」ご意見を。

【意見なし】

(藤原会長)

続いて、「3. 課題Ⅲ ジェンダーの視点に立った人権尊重と性差に応じた健康支援に関する取組について」、「求められる新たな施策」を「必要とされる施策」に修正する。他にご意見を。

【意見なし】

(藤原会長)

続いて、「4. その他」について。2段落目、「本当に」を削除する。三重県の一般職の志願書では性別欄が既にある。福祉職においては年齢を書くところもない。他にご意見を。

【意見なし】

(藤原会長)

全体を通して、ご意見があれば。

【意見なし】

(藤原会長)

以上の内容で評価を決定する。事務局の修正後は、皆様のご意見の意図に沿うように修正されているかどうか、また、誤字脱字など細かい部分も含めた最終確認が必要である。皆様にお諮りしますが、その最終確認を私に一任いただいてもよろしいか。

【異議なし】

(藤原会長)

それでは、私が責任を持って評価の最終確認をさせていただきたい。

これもちまして、令和2年度鈴鹿市男女共同参画基本計画に係る年次報告の外部評価の審議を終了とさせていただく。

事項2 その他

(事務局)

市長への提言書について説明。評価については、最終確認後に市長へ提出していただくことになる。その後、事務局から鈴鹿市男女共同参画推進本部会議へ外部評価を報告し、その対応について協議する。以上で何かご質問があれば。

【意見なし】

(事務局)

今回で今年度の審議会は終了となるので、部長からひと言お礼を申し上げます。

(地域振興部長)

挨拶

(事務局)

それでは、これをもちまして、令和3年度 第2回 鈴鹿市男女共同参画審議会を終了とする。

【閉会】